

ドイツ
ブレーメン州立経済工科大学
交換留学報告書

国際関係学部 国際関係学科 3年



私は2025年3月から8月の約5か月間、ドイツのブレーメン経済工科大学に交換留学をしていました。

本報告書では、派遣大学や授業、日常生活、旅行、最後に感想や留学を考える皆さんへのアドバイスについてまとめています。

皆さんにとって少しでもお役に立てれば幸いです。

1, 派遣大学や授業について

ブレーメン経済工科大学は比較的小さな大学ですが、様々な国の大学と沢山協定を結んでいます。そのため世界各国の学生と知り合うことができる国際色豊かな大学です。

協定学部はInternational Businessなので経済やマーケティングなどの授業が豊富です。私はその中から、グローバルマーケティングの他に、組織やプロジェクトのマネジメントについて学べる授業を多く履修しました。

授業では積極的な発言やグループワークが必要ですが、始めは自分の英語力の自信のなさから発言を控えることが多かったです。しかし次第に自分から動くことの重要さに気がつき、意見を述べる事が出来るようになりました。

評価はほぼプレゼンテーションでした。難しい内容なのに加え、英語で喋るということに何度も心が折れましたが、今はその経験が大きな成長や自信に繋がったと感じています。

また希望者はドイツ語の授業も履修できます。ここでは全てドイツ語で授業が進行され、ドイツ語のみで会話を行うため、とても有意義な学びが出来ました。レベルによってクラスが分かれるため、ドイツ語に自信がなくても問題ありません。様々な国出身の学生と一緒に授業を受けていましたが、彼らはとても熱心に学んでいたのでもっとも刺激を貰いながら頑張ることができました。



2, 日常生活について

私はネパールとインド出身の2人の留学生とシェアアパートで暮らしていました。キッチンでよく会話をしたり、郷土料理を作ってもらったりと、異文化出身の人と暮らすという楽しく貴重な体験が出来ました。ゴミ出しや掃除の分担をするなど、暮らす中でもルールを決めてお互いに気持ちよく暮らすことが大切だと実感しました。

またブレーメンには日本人が比較的多く交換留学に来ています。週末には6人ほどで家に集まり、日本食を作って楽しく過ごすことが多かったです。せっかく留学に来ているので、他国の友人と一緒に居なければ意味がないとはじめは思ってしまいましたが、やはり同じ言葉を喋る者同士からしか得られない安心感がありました。留学中もお互いに助け合

い、今ではかけがえのない存在となりました。

また、ブレーメン経済工科大学には日本語学科があり、授業とは別に毎週タンデムを行っていました。タンデムとはお互いの言語を教え合うことです。私は計3人のドイツ人のタンデムパートナーと主に食堂で行いました。時々カフェに行ったり、私の家で料理をし



りしながら行うこともありました。大体の日本人留学生はタンデムをしており、多くて5人のパートナーとしている友人もいました。私の場合、1時間はドイツ語、1時間は日本語のみに縛っての会話中心でした。今週の予定や旅行、お互いの国の文化についての質問とその受け答えをそれぞれの言語で喋り、文法の訂正や他の表現を教え合いました。ドイツ語のテストが近づくと、教科書のわからないところを教えてくださいました。なんて言えばよいだろうと悩みながら文章を考えたり、また逆に日本語の文法についての質問に苦戦したりと、母国語にも関わらず説明の難しさも痛感しました。しかしこのタンデムのおかげで語学力がぐん

と伸びた気がします。留学に来たからこそできることだと思うので、本当にやって良かったです。

また、大学終わりや週末に日本人留学生と日本語学科のドイツ人たちと川岸でよく集まり、お菓子を食べたりお酒を飲んだりもしました。仲を深める良い機会でした。

3, 旅行

留学中に多くの旅行をしましたが、国外と国内に分けてお話したいと思います。

まず国外は、デンマーク、スウェーデン、オランダ、イギリスに行きました。ドイツからだと簡単にヨーロッパ国に旅行できることも大きな魅力です。大体はFlixbus（高速バス）を利用し、時々飛行機を使いましたが、費用もとても安いです。金曜日は授業をとっていなかったなので、金曜から土日にかけて、日本人の友人達と行くことが多かったです。

国内ではとても沢山の都市を回りました。留学生はDeutschland Ticket というバス、トラム、鈍行列車が乗り放題のチケットを持っているので、移動費がほぼかからないのがうれしいポイントです。しかしドイツの列車は遅刻が当たり前なのでうんざりしました。



また、念願だった1人旅にも行きました。5つの都市を5日間かけて回り、途中の1日は

ドイツの友人と観光をしました。トラブルもありましたが、また1つ強くなったと感じることができた良い思い出です。

4, 感想・留学を考える皆さんへ

留学中は、語学力が思い通りに伸びなかったり、授業が理解できなかったり、友達がなかなか出来なかったりと、悩むことが沢山ありました。しかし、周りとは比べずに自分のペースで自分なりに頑張ると、少しずつ自分のやっていることに自信を持つことが出来ました。また、周りに言語やその他のことに真剣に向き合う仲間との出会いも大きな支えでした。少しの



努力から始めると、自分の自信に少しずつ繋がっていくと感じました。

留学中はなんでも自分から行動しないと何も起こらないと感じました。知らない人に話しかけてみたり、初めて使うフレーズで会話してみたり、小さなことから自分で動き出してみると、留学がもっともっと充実して楽しくなると実感しました。

また、自分の見た目を気にせず自分の人生に誇りを持っているドイツ人の姿を見て、自分の好きなことや生き方をもっと大事にしようと思うことが出来ました。異文化に触れることで、このような大事な気づきにも出会うことができ、私にとって今までで1番濃い5か月間でした。

一生に1度の留学なので、これから留学を考える皆さんには後悔なく最高の期間だったと心から言える留学であってほしいです。不安はあるかと思いますが、実際に行ってみると意外と何とかなるものです。なので恐れずに飛び込んでほしいと思います。